

[研究論文]

院生の模擬授業指導に活用する評価の観点
～熟達者の発言内容に着目して～Evaluation viewpoints used for mock lesson guidance for graduate students
-Focusing on the content of the expert's remarks-

脇田 哲郎

Tetsuro WAKITA

福岡教育大学教職実践ユニット

本研究は、院生の教員採用試験対策として行われる模擬授業の指導の際に活用できる評価の観点を明確にしたいという思いから取り組んだものである。48回の模擬授業を動画で撮影し、経験を積んだ受験者を熟達者とし、模擬授業の中で話される言葉に着目して、木下(2003)の修正版グラウンテッド・セオリー・アプローチを参考に模擬授業の逐語録を分析し、模擬授業の指導に活かせる評価の観点を見つけ出すことを試みることにした。その結果「対象の学校種や学年を考慮しているか」「アンケート結果を提示したり共通体験を想起させたりして導入しているか」「児童生徒に質問したり対話したりするなどの学習形態を取り入れているか」「児童生徒から本時学習のめあてが生まれるようにしているか」「模擬授業の問題の主要テーマに児童生徒が気づくようにしているか」「児童生徒の言動を積極的に認めたり賞賛したりしようとしているか」「主題に迫るまとまりのある話をしているか」「児童生徒を引き付ける表情、声量、態度が見られるか」の評価の観点を設定した。

キーワード：熟達者 模擬授業の評価の観点 授業の導入 学習形態 学習のめあて 主要テーマ

1 問題と目的

(1) 教員採用試験での模擬授業の実施状況

2022年度の教員採用試験において模擬授業を実施した自治体は、全国で41自治体である。(2021, 65都道府県市全国実施内容一覧：株式会社時事通信出版局)内容は、一次試験での実施が2自治体、二次試験での実施が37自治体、三次試験1自治体、一次、二次試験区別なしが1自治体である。

本学院生も、2022年度教員採用試験受験のため模擬授業を含め、面接との教員採用試験対策に取り組んだ。報告者も2021年7月19日から8月27日まで、13名の院生に延べ48回の模擬授業指導を行った。13名の院生は、小学校受験者1人、中学校5人、高等学校6人、特別支援学校中学部1人であり、全員福岡県公立学校を受験した。

令和4年度福岡県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項に示された模擬授業の評価の観点は、次のように示されている。

話し方、指導力、説得力、質問等への対応、教員としての資質や意欲 等

ここに示されている評価の観点だけでは、どのように模擬授業を行えば良いのか採用試験を受験する院生には理解しにくい。また、試験対策で指導する教員もどのような観点で指導すれば良いのか分かりにくいところがある。

秋田県の教員採用試験要項には、以下のように模擬授業の評価の観点が示されている。「個性豊かでたくましく、常に学び続ける探究力を有しているか、また、教科等に関する深い専門的知識と広く豊かな教養を身につけているかどうかを、主に、①授業の構成力、②専門的知識、③創意工夫や引き付ける力の3つの大きな観点から5段階で評価します。」

安藤(2015)は、模擬授業の評価を表1のように設定している。これらをABCの3段階で評価するようにしている。

表1 模擬授業の評価

対象学年にあっているか
授業全体の構成はどうか
主な指導内容は伝わったか
教師の指導力(話し方 技術面)
教材・音響環境設定等

このように、模擬授業の評価の観点は、様々な存在するが、受験生にとっては、具体的にどのように模擬授業を実施すれば採用試験に合格できるのか分かりにくいのが現状である。

(2) F 院生の 1 回目と 10 回目の模擬授業の比較

図 1 と図 2 は、F 院生の 1 回目と 10 回目の模擬授業をテキストマイニング（株式会社ユーザーカール）したものである。

模擬授業の問題は、次の通りである。

あなたの勤務している学校で地震避難訓練が実施されましたが、クラスの児童(生徒)が避難訓練中に、教員の指示に従わず騒いだり、ふざけ合ったりするなどの様子が見られました。事後指導として、児童(生徒)の災害への意識を高め自分や他者の安全を守ろうとする態度を育てるために、担任として児童(生徒)に対して話をしてください。
(下線=報告者)

避難訓練の際のふざけた態度が見られた生徒に対して、災害への意識を高める事後指導を実施するという問題である。F 院生は、特別支援学校中学部の知的障害のある 2 年生を想定して授業を行った。今回、特に共起キーワードに着目して 1 回目と、10 回目を比較した。共起キーワードとは、一文の中に、単語のセットが同時に出現するもの

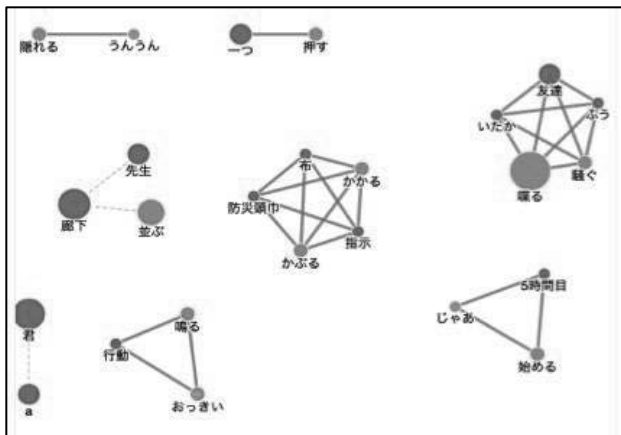


図 1 F 院生第 1 回目の模擬授業の共起キーワード

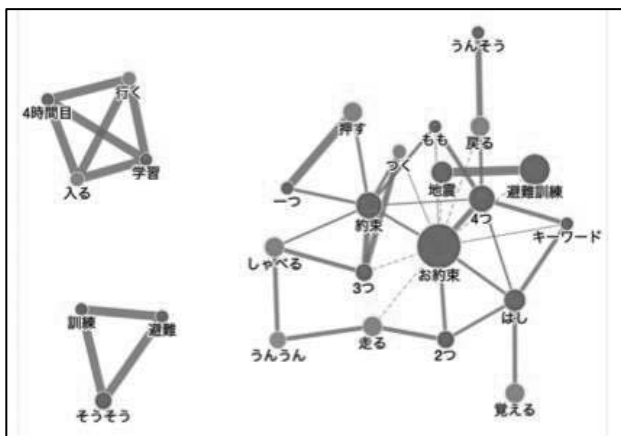


図 2 F 院生第 10 回目の模擬授業の共起キーワード

であり、共起回数は、一緒に出現した回数を指す。例えば「友達・喋る」「友達・思う」「喋る・思う」という言葉のセットがそれぞれ 4 回ずつ出現しており、全体で 239 のセットが検出された。

また、10 回目は「地震・避難訓練」「4つ・お約束」のセットが 3 回ずつ出現しており、全体で 52 のセットが検出されている。この、模擬授業は、開始から 3 分までの記録であるが、1 回目は、関連していない多くの言葉を用いながら授業を行ったことが分かる。それに対して、10 回目は、図 2 に示すように、少ない言葉で、4 つの約束「おはしも」をまとまりよく伝えようとしていることが分かる。

このことから、院生は、模擬授業の回数を積むごとに確実に模擬授業の力量を向上させているのが分かる。本研究では、このことに着目しながら、模擬授業の回数を多く経験した受験者を「熟達者」として設定し、その熟達者が、どのような言葉を活用しながら話したり授業をしたりしたのかを、木下 (2003) の修正版グラウンテッド・セオリー・アプローチ (以下、M-GTA) を参考に模擬授業の逐語録を分析し、模擬授業の指導に活かせる評価の観点を見つけ出すことを試みることにした。

2 研究

(1) 研究の方法

① 対象

報告者が、指導を行った 13 人の受験者のうち、令和 4 年度教員採用試験に合格した高等学校受験者 2 人、中学校受験者 2 人を対象とした。

② データの収集方法と質問事項

2021 年 7 月 19 日から 8 月 27 日までに実施した、模擬授業を動画で撮影したものを分析することにした。撮影時間は、採用試験時の模擬授業の実施時間とし、高等学校、特別支援学校 10 分間、小中学校が 7 分であった。

③ 研究による倫理的配慮

対象者には、事前に研究の目的、方法、研究の参加並びに中断における個人の自由意志の尊重、データの使用範囲について口頭と文書で説明し、了承を得た上で実施している。

④ 分析方法

本研究では、模擬授業の指導を始めてから後半の動画に記録された模擬授業の逐語録を、M-GTA を参考に分析した。

M-GTA がどのような研究に適しているのかについて木下 (2003) は「グラウンデッド・セオリ

一は社会的相互作用に関係し人間行動の説明と予測に優れた理論である」とし、そのポイントとして「第1に、人間と人間が直接的にやり取りをする社会的相互作用に関わる研究である。第2に、ヒューマンサービスの領域が適している。第3に、研究対象とする現象がプロセス的性格を持っている。」を示している。

模擬授業は、対象とする学校種の児童生徒に、出題された模擬授業の問題を授業形式で実施する架空の授業であるが、授業者は、児童生徒を想定しながら話の核心や授業のねらいに迫ろうとする。つまり、授業を受ける者と授業を行う者という社会的関係での相互作用を想定しながら言葉を発するのである。これは、教室で行われている教育というヒューマンサービスであり、本研究の分析にM-GTAを参考にしようとした根拠である。

なお、分析に基づいた論文の作成については、鶴田(2021)を参考にした。

(2) 研究の実際

M-GTAの分析法を参考に、模擬授業の流れに沿って時系列に分析した。その結果を、表2、表3に示す。

① 高等学校受験者の模擬授業

高等学校受験者が実施した模擬授業の問題は次の通りである。

No1	あなたの勤務する学校で、携帯電話やスマートフォンの利用実態調査を行ったところ、全校生徒の1日あたりの平均使用時間は約4時間で昨年度よりも30分増加していました。一方平均睡眠時間と平均家庭学習時間は昨年度より減少していました。この状況を踏まえ、全クラスでホームルーム活動において、「 <u>携帯電話やスマートフォン利用のリスクと適切な利用の仕方</u> 」について話をするようになりました。2年生の担任としてクラスの生徒に話をしてください。 下線=報告者
No2	あなたは1年生の担任です。今週、生徒に1学期中間考査の答案が返却されました。生徒の多くが思ったほど得点できず、勉強と部活動の両立に不安を感じているようです。そこで、ホームルーム活動において、 <u>生徒が学校生活に適応するとともに、希望や目標を持って生活を送れるよう話をする</u> ことになりました。担任として、クラスの生徒に話をしてください。 下線=報告者

高等学校の問題は「話をする」ことが求められている。受験者No1は「携帯電話やスマートフォン利用のリスクと適切な利用の仕方」について、

受験者No2は「生徒が学校生活に適応するとともに、目標を持って生活を送れるように」話をするようになる。模擬授業の時間は10分である。

授業のスタート

No1は前回とったアンケートの結果から、No2は、生徒の共通体験である初めての定期考査の想起からスタートしている。

表2： 授業のスタート (0~30秒)

No1 先週、前回取ったアンケートね、あの携帯電話とかスマートフォンの利用時間に関する調査を行ないました。覚えてますか。あれについてはね、結果からね、まずちょっと見ていこうかな

表2： 授業のスタート (0~30秒)

No2 入学して来て初めてのテストでいろんなことをね思ったんじゃないかな

アンケート結果や共通体験の想起というだけでは、授業のスタートには適していると考えられる。授業者が一方的に話すのではなく、生徒の問題意識を喚起するという配慮がなされている。

本日の話のテーマの明確化

No1は、アンケート結果を分析した「携帯電話やスマートフォンの使用時間が昨年より30分増えている」というデータを示しながら、話の核心に迫ろうとしている。No2は、定期考査の時の勉強法や勉強時間での悩みを想起させて話のテーマを明確にしようとしている。

表2： 話のテーマの明確化 (30秒~1分30秒)

No1 データ見て何か気づくことありますか。昨年度と比べて30分増えてる、学習時間と睡眠時間が減っているスマートフォンとか携帯電話の適切な使いかたについて話をしようかなと思います。

表2： 話のテーマの明確化 (30秒~1分30秒)

No2 勉強方法あとは勉強時間だったりいろんなことについて悩んだんじゃないかな今日これからの学校生活と希望や目標についてね少し話したいなあ

対話形式の導入

授業者は、AさんBさんと指名して質問し、それに生徒が答える形式で、No1は携帯やスマホの良さについて、No2は、高校生活の不安についての話を進めている。

表2： 対話形式の導入 (1分30秒~3分)

No1 コロナの状況なのでグループ活動ができないので先生の方から当てていきます。Bさんから携帯電話スマートフォンのいいところはありますか。

表2： 対話形式の導入 (1分30秒~3分)

No2 Aさん、初めての中間考査どうでした？不安の中勉強したけどあんまり思い通りいかなかった。Bさん今回の中間考査どうでしたか。部活動が試験期

間中に入ってたからあんまり勉強できなかった。
Cさん。ああ、そうか。これから部活動と勉強両立でき
るかっていうのが少しだけ不安になったのかな。

No1は、グループ協議をしたいのだけれどもコ
ロナ禍だからできないので、一人一人に質問して
いくと言っている。現在の状況にも留意した言葉
であると考え。また、No2は、生徒に質問し、
その生徒が回答したという形で話を進めているの
が分かる。

話の展開の工夫

さらに、話を進めるためにNo1は、生徒と対話
する形で進めている。No2は、自分の高校1年生の
時の夢を語りながら話を進める工夫をおこなって
いる。

表2：話の展開の工夫（3分～5分）

No1 うん、調べ物がしやすいってことね。Cさんお願
いします。うん、あ、連絡が取りやすいね。Dさん何か
ありますか。うん、あ、ゲームが楽しい。あーなるほど
ね、後ろのEさん。うん、あ、ネットショッピング。あ
ーなるほど、アマゾンとか？あーなるほどね、買い物が
できる。

表2：話の展開の工夫（3分～5分）

No2 先生の高校一年生の時の希望っていうのは、えっ
と高校の数学の先生になりたかったです。そして、将来
海外に行って、海外いろんなところに行きたいというふ
うに思っていました。

授業者は、話が教師からの一方的な情報提供に
ならないように、生徒主体の授業になるように留
意していると考え。

生徒への質問形式で進める

No1は、生徒に質問しそれに生徒が答える形で
携帯やスマホの便利さから課題に移行している。
No2は、自分のことを例示しながら、目標を達成
するための小さな目標について話を進めている。

表2：生徒への質問形式で進める（5分～7分）

No1 Bさん。架空請求の通知がきた。Fさん、情報が
拡散しやすいと。やり取りで表情が分からないかな。課
金、ついつい課金してしまうと。なるほどね、課金した
ら先に進むからね。

表2：生徒への質問形式で進める（5分～7分）

No2 先生が高校一年生の時に決めてた目標っていうに
は、とりあえず20番以内に入ること。これを数値目標
って言うんだけどね、こういうふうに大きい目標小
ちゃい目標なんでもいいからみんなのちょっと聞いて
みたいな、Bさん。あ、希望は看護師になりたいですと。
あ、目標は、学校で50番以内に入る。はい、Eさん。
うん、あ、小学校の先生、とりあえず全教科80点以上
超えたいですと。Fさん。あ、将来の夢は保育士ですと。
おー、で、目標、あ、とりあえず勉強頑張る、

No2の小さな目標は、大谷選手の目標達成シー
ト（曼荼羅チャート）の考え方のように、中央の
目標を達成するために周辺の小さな目標を一つづ
つ達成していこうとする考え方を取り入れている
のではないかと考える。

話の中心テーマに迫る

話の中心テーマである「携帯やスマホの適切な
使い方」「目標を達成するための小さな目標の設定」
に迫るために、これまでの話を関連させながら整
理している。

表2：話の中心テーマに迫る（7分～8分30秒）

No1 いいところの延長線上に悪い所がない？例えば調
べ物がしやすい、ね、たくさん検索ができる、でもそう
やってサイトに行くと架空請求にあっちゃう。LINEと
かねることが出来るけどもやりとりで表情が分から
ないっていう問題がある。ゲームもそう、課金しすぎ
るとかね。4時間もやっぱ使うとやっぱそういった可能性
も増えるだろうということで今日この話をしました。
じゃ、どうやって使うのが良いでしょうか。

表2：話の中心テーマに迫る（7分～8分30秒）

No2 学校生活に適応するために、これからの学校生活
でできることは何かなっていうのも同じように考えて
ほしいみんなの夢を聞いてすごい嬉しい気持ちになり
ました。今回はこの小さい目標について考えていき
たい1分間ほどとります。自分の中でちっちゃな目標を何
でもいい、例えば、先生だったら来週までに本を一冊読
み終えるとか。うん、そんなちっちゃな目標を考えてく
ださい。

No1は、携帯やスマホの便利なところの延長線
上に課題があるという展開から、どのように使う
のが良いのかという問題を提示している。No2は、
1分間の時間を確保するので、小さな目標を決定
するようにしている。

話のまとめ

生徒の発言を通して「携帯やスマホの適切な使
い方」「高校生活の希望や目標」を小さな目標で達
成すると話をまとめている。

表2：話の中心テーマに迫る（7分～8分30秒）

No1 変なサイトにアクセスしない。むやみやたらに画
像などをアップロードしない。大事なことは直接言う。

表2：話の中心テーマに迫る（7分～8分30秒）

No2 毎日2ページ以上進める、数学だったら参考書2
ページ以上、英語だったら、英単語2ページ以上。
毎週ええっと、本を一冊読みます。ああすごいいい考え
だね。目標に向かって一步步進んでいけたらね、次の
定期考査の時には必ずいい点数が取れる

決して、教師の押し付けで話の中心部に迫るこ
とがないようにしている。

表2 高等学校受験者の概念、定義、具体例

概念	定義	具体例
授業のスタート(0~30秒)	前回とったアンケートの結果や共通の体験(初めての定期考査)を想起させて授業をスタートさせている。	No1 先週、前回取ったアンケートね、あの携帯電話とかスマートフォンの利用時間に関する調査を行ないました。 No2 入学して来て初めてのテストでいろんなことをね思ったんじゃないかな
話のテーマの明確化(30秒~1分30秒)	アンケート結果を分析したデータや共通体験の中での悩み等から話のテーマを明らかにしようとしている。	No1 スマートフォンとか携帯電話の適切な使いかたについて話をしようかなと思います。 No2 今日これからの学校生活と希望や目標についてね少し話したいなあ
対話形式の導入(1分30秒~3分)	AさんBさんと氏名し、生徒が答える形式でNo1は携帯やスマホの良さについて、No2は高校生活の不安についての話を進めている。	No1 Bさんから携帯電話スマートフォンのいいところは何かですか。 No2 Aさん、初めての中間考査どうでした? Bさん今回の中間考査どうでしたか。Cさん。これから部活動と勉強両立できるかっていうのが少しだけ不安になった
話の展開の工夫(3分~5分)	生徒との対話形式と自分のことを語る形式でNo1は、携帯やスマホの良さを、No2は自分の高校1年生の時の夢を語って話を構成している。	No1 Cさんお願いします。うん、あ、連絡が取りやすいね。Dさん何かありますか。Eさん。うん、あ、ネットショッピング。 No2 先生の高校一年生の時の希望っていうのは、えっと高校の数学の先生になりたいかったです。
生徒への質問形式で進める(5分~7分)	携帯やスマホの課題や小さな目標について生徒の発言を拾うという形で進めている。	No1 Bさん、架空請求の通知がきた。Fさん、情報が拡散しやすいと。やり取りで表情が分からないかな。便利なところがあるからやっぱ使いすぎてしまう No2 Bさん。希望は看護師になりたいですと。目標は、学校で50番以内に入る。Eさん。小学校の先生、とりあえず全教科80点以上超えたい Fさん。あ、将来の夢は保育士ですと。とりあえず勉強頑張る、
話の中心テーマに迫る(7分~8分30秒)	話の中心テーマに迫るためにこれまでの話を関連させ整理している。	No1 いいところの延長線上に悪い所がない?例えば調べ物がしやすい、たくさん検索ができる、でもそうやってサイトに行くと架空請求にあっちゃう。じゃ、どうやって使うのが良いでしょう No2 今回はこの小さい目標について考えていきたい1分間ほどとります。自分の中でちっちゃな目標を何でもいい、目標を考えてください。
話のまとめ(8分30秒~9分30秒)	生徒の発言を通して「携帯やスマホの適切な使い方」「高校生活の希望や目標」を小さな目標で達	No1 変なサイトにアクセスしないと。おやみやたらに画像などをアップロードしない。大事なことは直接言う。

① 中学校受験者の模擬授業

中学校受験者の模擬授業の問題は、次の通りである。模擬授業の時間は7分である。

No1	<p>あなたが担任する2年生の学級では、生徒の職場体験学習が迫り、それぞれの体験先での活動内容が明らかになるにつれ、意欲を高める生徒もいれば、関心が薄れていく生徒も見られるようになりました。そこで、<u>学級活動の時間において、体験先でのそれぞれの言動や行動、態度等について考えることにしました。</u></p> <p>この時間の始めの場面で、体験先での一人一人の行動や言動の在り方について、<u>職場体験学習の意義を踏まえて、生徒に対して話をしてください。</u> 下線=報告者</p>
No2	<p>あなたが担任している1年生の学級では、学級の係活動について仕事の役割分担や一人一人の責任感が大切であることをこれまで指導していました。そこで、新学期になり、新たに学級の組織づくりを行うことになり、再度、<u>一人一人が自ら進んで行動する学級組織はどんなものかについて考えた後に、係決めをすることにしました。</u>この時間の初めの場面で、係活動では一人一人の責任感が大切であることを、<u>学級組織が機能することの意義等を踏まえて、生徒に対して話をしてください。</u> 下線=報告者</p>

中学校の問題も話してくださいとあるが、No1の問題では学級活動の時間においてという設定がしてある。職場体験の内容を学習する学級活動は、今回の学習指導要領の改訂で新たに位置付けられた学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」(以下、学活(3))の内容が考えられる。また、No2においては、学級組織としての係決めという設定がしてある。学級の組織である係活動は、学級活動(1)の活動形態の一つであるが、この問題のように教師が学級組織の機能の意義について話すということであれば、本問題も学活(3)の学習過程を考慮しながら話すことが考えられる。

授業の導入

授業の導入は、No1は、題材を板書することからである。また、No2は、二学期の始業式を想定した話からスタートしている。

表3：授業の導入（0分～1分30秒）

No1 じゃあ授業を始めます。今日の題材をまず書きたいです。《板書》

今日の題材は職場体験に向けてということです。来週職場体験が始まります。それに向けてみんないろいろ

準備してきてるとしています。すごいね、みんなの頑張りってのが先生見てすごいなあと思ってます。

表2：授業の導入（0分～1分30秒）

No2 はいじゃあ皆さん授業を始めます。

Aさん。部活動一生懸命頑張りました

Bさん。小学校の時よりも課題が多くてちょっと大変でした。だけど頑張りました

今日から二学期になるということでもまた一緒に頑張っていきましょう。

No2 二学期に入ったということで新しく係決めを行ないたいと思います

No1は「すごいね」「すごいなあと思う」と生徒を積極的に褒めようとしていることが分かる。

問題意識の喚起

職場体験の意義や学級の係活動が機能することを話すために、アンケート結果のグラフ提示や1学期の学級目標決めの動画を提示している。

表3：問題意識の喚起（1分30秒～2分30秒）

No1 1つ目のグラフは、職場体験に対して前向きな気持ちで臨むことができますかって言うアンケート中の1つの設問でした。

表3：問題意識の喚起（1分30秒～2分30秒）

No2 一学期の皆さんの様子を振り返ってみませんか。電子黒板に注目してこれ何の動画か考えながら見てみてください。

生徒が主体的に学習の目標を把握することができるように資料提示を工夫している。

生徒が解答する形式

職場体験に行くことの意義と目指す学級像を生徒の発言から引き出している。

表3：生徒が解答する形式（2分30秒～3分30秒）

No1 AさんとBさんが言ってくれたことって職場体験に行く上でとっても大事なことだ

表3：生徒が解答する形式（2分30秒～3分30秒）

No2 まず一人一人が考えることが大切だっていう話が出ましたよね。

生徒主体の学習になるように配慮している。

不安解消、係設定に向けた課題の明確化

職場体験の悩みや1学期の係活動の振り返りを生徒の発言から明らかにしている。

表3：不安解消、係設定に向けた課題の明確化（3分30秒～5分30秒）

No1 職場体験に臨む上で悩みがあるよって言える人いますか。Cさん。うん、あ、なるほど。そもそも職業っていうのはどういふのかわかんない。Eさん。そこで働いてる人とどう接していけばいいのかわかんない。

表3：不安解消、係設定に向けた課題の明確化

No2 Bさん。協力してみんなが協力してくれた。でも一人でちょっと大変だったDさんは英語係でした。

表3 中学校受験者の概念、定義、具体例

概念	定義	具体例
授業の導入 (0~1分30秒)	題材の板書と教師の話から授業内容を知らせている。	No1 今日の題材をまず書きたいと思います。《板書》今日の題材は職場体験に向けてということです。 No2 二学期に入ったということで新しく係決めを行ないたいと思います
問題意識の喚起 (1分30秒~2分30秒)	グラフ提示と動画視聴で題材に迫ろうとしている。	No1 は《板書(グラフの提示)》 1つ目のグラフは、職場体験に対して前向きな気持ちで臨むことができますかって言うアンケート中の1つの設問でした。 No2 一学期の最初の方に学級目標をみんなで決めましたよね。自分たちで考えて行動できるクラスになりたいって言ってましたね。《板書》
生徒が解答する形式 (2分30秒~3分30秒)	職場体験に行くことの意義と目指す学級像を生徒の発言から引き出す。	No1 AさんとBさんが言ってくれたことって職場体験に行く上でとっても大事なことだ No2 一人一人が考えることが大切だっていう話が出ましたよね。
不安解消、係設定に向けた課題の明確化 (3分30秒~5分30秒)	職場体験の悩みや1学期の係活動の振り返りを生徒の発言から明らかにしている。	No1 このグラフは自分の職場体験っていうのに臨む上で不安とか悩みっていうのがありますかっていう質問でした。 No2 Bさん。協力することが大切っていうのも出ましたね。Cさんは今日えっと時間割係だった、Dさんは英語係でした。
本時学習のめあて設定 (5分30秒~7分)	職場体験で明らかにしたいことやなりたいクラス像から本時学習のめあてを設定する	No1 みんなどういう姿で職場体験に臨みたいですか。CさんAさんの話聞いて働くことってどういうことなのか考えながら実際にやってみようと思った。Eさん。働くために大切なものが何か真摯に聞いてみたい。Cさん。なりたい姿になれるようにどうしていけばいいのかわかるとか考えてみたい。Fさん。具体的にどういう行動とかをしていけばいいかっていうのを考えたい No2 今日は皆さんがなりたいクラスになるためにもっとこれに近づけるように二学期の係活動まあ人数だったり内容だったりっていうのをみんなでもう一回考えてそこから係を新しく決めたいと思います。

No1は、職場体験にいく前の生徒の不安を明らかにしている。No2は、1学期の係活動の振り返りをおこなっている。

本時学習の目当て設定

職場体験で明らかにしたいことやなりたいクラス像から本時学習のめあてを設定している。

表3：本時学習の目当て設定 (5分30秒~7分)

No1 みんなどういう姿で職場体験に臨みたいですか。

表3：本時学習の目当て設定 (5分30秒~7分)

No2今日は皆さんがなりたいクラスになるためにもっとこれに近づけるように二学期の係活動を新しく決めたい

7分の模擬授業は、本時学習のめあてを設定するための活動である。生徒が主体的にめあてを設定

できるように対話的な活動に留意しながら、アンケート結果を振り返らせたり1学期の係活動を振り返らせたりしていることが分かる。

3 総合考察

中学校と高等学校の模擬授業について、何度も経験を積んだ熟達者は、模擬授業の問題が「話すこと」と示してあっても、一方的に問題の主題を教師から児童生徒に話して聞かせるという形式は取っていない。そこには、児童生徒の主体的な学習にするという配慮が見られる。具体的には、生徒に質問したり生徒と対話したりしながら話を進めている。また、アンケートの結果を示したり、共通に体験したことを想起させたりして児童生徒が問題を自分ごととして捉え、解決していこうとする学習意欲を喚起していることも分かる。このような模擬授業で見られた、熟達者の配慮事項を考慮して、安藤（2015）が示した表1の観点を検討し、新たに観点を作成したい。（表4）

表4 模擬授業の評価の観点（報告者作成）

対象学年の合致	対象の学校種や学年を考慮しているか
授業全体の構成	アンケート結果を提示したり共通体験を想起させたりして導入しているか
	児童生徒に質問したり対話したりするなどの学習形態を取り入れているか
模擬授業のテーマの明確化	児童生徒から本時学習のめあてが生まれるようにしているか
	模擬授業の問題の主要テーマに児童生徒が気づくようにしているか
教師の指導力（話し方技術面）	児童生徒の言動を積極的に認めたり賞賛したりしようとしているか
	主題に迫るまとまりのある話をしているか
	児童生徒を引き付ける表情、声量、態度が見られるか

前述のように、模擬授業の観点作成を試みたが、今後、院生の教員採用試験対策を実際に行いながら改善を加え、精度を上げていきたい。

今回、48回の模擬授業に立ち会ったが、その都度、その様子を動画に撮影し、院生に試聴させた。その時、自分のどの部分に注目して試聴したのかを調査したのが図3である。これを見ると、院生は模擬授業後の自分の「発問」が分かりやすいの

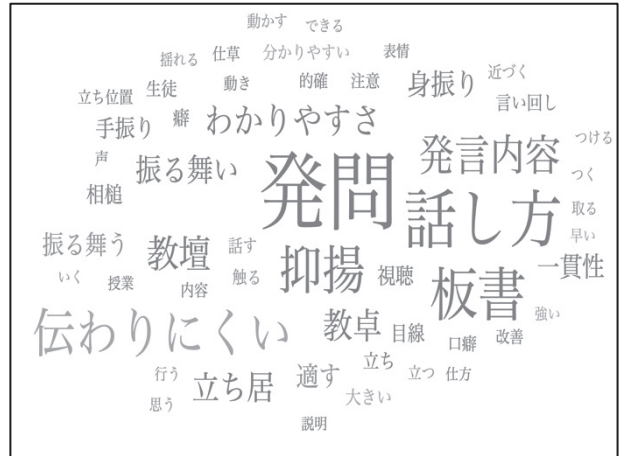


図3 動画で注視したこと

か、伝わりにくいのかということに注視している。模擬授業は、実施して参観者に指導助言を受けるといって行われることが多いが、指導者から言われていることが具体的にどのようなことなのか分からなかったが、表5のF院生のように動画を見直すことで気づくことができていることが分かる。今後、評価の観点に基づいた模擬授業の評価と動画で振り返らせる自己評価を同時に行うことも模擬授業指導には有効ではないかと考える。

表5 動画視聴後のF院生の感想

模擬授業後に、教授の先生や院生からアドバイスをいただくが、話を聞くだけではピンとこないことや、実際に自分の模擬授業の様子を見ないとわからないこともありました。

（私の場合は、自分の中ではゆっくり話しているつもりでしたが、動画で見ると早かったことや、話が強いと言われていたが、実際に動画を見るまではなぜ「強い」と言われているのか分かりませんでした）

動画を見ることでアドバイスをより理解することができたとともに、自分を客観的に捉えることができました。また、自分の癖を理解し、できるだけ出さないように気をつけるようにすることができました。

引用・参考文献

安藤江里 2015 初等教育養成に必要とされる音楽経験に関する一考察

木下康仁 2003 グラウンテッド・セオリー・アプローチの実践 弘文堂

鶴田麻也美 2021 コロナ禍における特別活動の意識変化についての考察 昭和女子大 No.964 63~76(2021・2)